

# 北海道環境産業振興戦略の見直しについて

経済部環境・エネルギー室

## 1 見直しの背景

道内での環境産業の育成・振興を図るため、平成24年3月に策定した「北海道環境産業振興戦略」(以下「戦略」という。)に基づき、これまでに各種取組を進めてきたところだが、固定価格買取制度の運用開始やエネルギー基本計画の改定、水素など次世代エネルギーに関する取組の推進など、環境産業を取り巻く状況が大きく変わってきたことに加え、平成27年度が推進期間の最終年度にあたり、次期戦略の策定(改定)に向けた見直しが必要。

## 2 見直しの方向性

目的やめざす姿などの基本的な考え方は現戦略を基本としつつ、水素関連ビジネスなど次世代に向けた項目を追加するとともに、より実効性を担保するため、これまでの取組結果を踏まえ、北海道の特性を活かした事業展開が見込まれる重点分野の選定など、より一層の環境産業の育成・振興を図るための検討を行う。

## 3 見直しの進め方

上記の方向性に沿った専門的見地からの議論を行うため、大学、リサイクルやエネルギーなどの関連団体等の有識者で構成する会議(「北海道環境産業振興戦略検討有識者会議」)を設置し、検討を行う。

### (1) 主要な論点

- ・現時点及び今後5年程度を踏まえた重点分野の選定について
- ・重点分野毎の施策の展開方向について
- ・環境産業の育成、振興に係る新たな仕組みについて

### (2) 委員名簿

	氏名	所属・役職
委員長	半澤 久	北海道科学大学工学部建築学科教授
副委員長	高野 伸栄	北海道大学大学院公共政策学連携研究部准教授
	長野 州一	(一社)北海道商工会議所連合会事務局次長
	松永 芳明	(公社)北海道産業廃棄物協会事務局長
	小林 コミ	(特非)北海道グリーンファンド事務局次長
オブザーバー	立野 雅樹	北海道経済産業局資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課課長補佐
オブザーバー	高橋 徹	(地独)北海道立総合研究機構産業技術研究本部 工業試験場環境エネルギー部長

## 4 見直しのスケジュール(予定)

平成27年6月8日	第1回有識者会議(現戦略の取組状況、見直しの方向性)
9月3日	第2回有識者会議(重点分野の見直し、現戦略の検証)
11月6日	第3回有識者会議、「骨子案」議会報告(4定前日委員会)
平成28年1月	第4回有識者会議
2月	「戦略素案」議会報告(1定前日委員会)、パブリックコメント
3月	第5回有識者会議、新戦略決定

# 北海道環境産業振興戦略の見直しについて（骨子案）

経済部環境・エネルギー室

## 第1章 戦略の基本的考え方

### 戦略見直しの背景

- 環境産業を取り巻く状況の変化
  - ・太陽光を中心とした再生可能エネルギー導入量の拡大
  - ・エネルギーミックスの決定（徹底した省エネの取組強化）
  - ・電力システム改革による電力小売りの全面自由化
  - ・道内での水素実証プロジェクト事業の開始
  - ・リサイクル製品の需要拡大を目指した取組の進展

### 戦略の目的・必要性

- 《目的》
  - 環境産業を経済活性化に向けた推進エンジンのひとつとして育成・振興を図る
- 《必要性》
  - 産業界、研究機関、地域などが方向性を共有、連携した取組を進めていけるよう道として戦略を策定
- 《期間》 平成28年度から平成32年度までの5年間

## 第2章 現状・課題とめざす姿

### 現 状

- 関連技術の組合せによるスマートコミュニティ構築の取組の芽が顕在化
- 地中熱などの熱利用技術で強みを有する省エネ関連企業の出現
- 循環資源の再生利用による持続可能なビジネスモデル構築の推進
- 産学官金ネットワーク組織などによる支援の開始

### 課 題

- 北海道の強みを**競争力の強化**につなげていくことが必要
- 収益力**に課題、地域社会全体の取組による対応が必要
- 中小企業者が多く、単独では**事業展開力**に限界

### めざす姿

- 《産業》世界を視野に飛翔する環境産業群の形成
- 《地域》地域に広がる多様な環境ビジネスの創出
- 《社会》環境と経済の調和を目指す社会の仕組みづくり

## 第3章 重点的に取り組む分野

### 3つの重点分野

#### スマートコミュニティ関連

高断熱・高气密住宅に新エネルギー関連製品等を組み合わせたスマートハウスなどの製品開発

#### リサイクル関連

バイオマスの地産地消に向けた研究開発と事業化、環境保全に資する製品開発

#### 省エネルギー関連

ものづくり系事業のほか、省エネコンサルティングなどのサービス系事業の育成・振興

## 第4章 戦略展開 ～ 3つの戦略と支援制度の強化

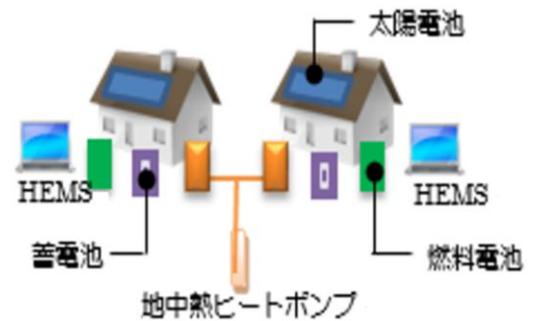
### 戦略1 本道が持つ技術や製品の組合せによる新分野での産業の創出

#### <スマートコミュニティ関連>

- 道内企業が有する独自の技術・製品を組み合わせ、新たな製品開発プロジェクトとして展開するためのコーディネートや企業マッチングを行う仕組みづくり
- 水素関連ビジネスの参入促進に向け、「水素社会実現戦略ビジョン」や「ロードマップ」を踏まえた取組の促進

【成果指標案】寒冷地型スマートハウス街区の開発（1箇所）

寒冷地型スマートハウスのイメージ



※HEMS：Home Energy Management Systemの略で、家庭で使うエネルギーの使用量を「見える化」したり、家電機器を「自動制御」するための管理システム。

### 戦略2 地域循環資源を活用した製品の事業化促進と地域内リサイクル産業の育成

#### <リサイクル関連>

- バイオマスを含む循環資源を用いたリサイクル製品を軌道に乗せるための取組促進や、さらなる販路拡大に向けた方策の検討
- 地産地消型のリサイクルシステムの推進に向け、地域の循環資源・バイオマス資源を活用した地元企業によるリサイクル産業の育成に向けた取組促進

【成果指標案】地域内リサイクルシステムの構築（3地域）

地域内リサイクルシステムのイメージ



### 戦略3 省エネルギー関連技術・製品の開発支援とサービス系事業の育成・振興

#### <省エネルギー関連>

- 道内企業の技術・製品開発への支援による、関連技術の取得・向上及び独自技術の開発促進
- 道内需要の拡大に向けた普及啓発などの取組に加え、関連するサービス系事業の育成・振興

【成果指標案】産業部門の最終エネルギー消費量  
22.3（GJ/百万円）

※新エネルギー導入拡大に向けた基本方向（H26.3）で設定する目標値で、製造品出荷額等当たりのエネルギー消費量

### 環境産業を支援する仕組みのさらなる充実

- 支援する仕組みをさらに充実し、参入に向けた企業の動きを加速化

【成果指標案】  
環境産業への参入企業割合の増（約20% → 25%）  
※環境省の「環境経済観測調査」における環境ビジネス実施企業の割合

## 第5章 戦略の推進に向けて

- 成果指標の設定
- 事業者、研究機関、市町村等との連携強化
- 庁内の推進体制
- 戦略の進行管理